

## 根岸線 要望項目一覧（４件）

- I 輸送力増強..... 2
  - 1 輸送計画の改善
    - (1) 桜木町駅や磯子駅折返しとなっている列車の大船駅までの延長運転（継続）
- II 利便性向上..... 2
  - 1 駅施設等の整備
    - (1) 関内駅の利用者の安全性確保、利便性向上を図るための駅施設等の整備（継続）
    - (2) 石川町駅元町口の高齢者、障害者等の安全確保を図るための駅施設等の整備（継続）
    - (3) 新杉田駅の混雑対策（継続）
    - (4) 桜木町駅の利用者の安全性確保、利便性向上を図るための新改札口等の整備（新規）
    - (5) 関内駅、山手駅、大船駅への可動式ホーム柵の設置（新規）

## I 輸送力増強

### 1 輸送計画の改善

- (1) 桜木町駅や磯子駅折返しとなっている列車の大船駅までの延長運転（継続）

利用者の利便性の向上を図るため、桜木町駅や磯子駅折返しとなっている列車を、大船駅まで延長運転されるよう要望いたします。

## II 利便性向上

### 1 駅施設等の整備

- (1) 関内駅の利用者の安全性確保、利便性向上を図るための駅施設等の整備（継続）

J R 関内駅は、市庁舎や横浜スタジアムの最寄駅であるとともに、横浜都心部の玄関口の1つとして、一日の乗降客数が約 11 万人（平成 28 年度実績）と多くの方々が利用されています。

現在、北口の駅施設改良について、J R 関内駅北口整備協議会を設立し、貴社と連携しながら事業を進めていますが、着実な事業推進に向け、引き続きの取り組みをお願いいたします。

平成 32 年 6 月には、市庁舎が関内駅前から移転しますが、横浜文化体育館の再整備や現市庁舎街区の活用など、新たなまちづくりの検討を進めていますので、ご協力をお願いいたします。

- (2) 石川町駅元町口の高齢者、障害者等の安全確保を図るための駅施設等の整備（継続）

駅舎改良については平成27年度から事業化されましたが、平成29年度内の南行ホームエレベーターの供用及び平成30年度内の北行ホームエレベーターの供用開始に向け、引き続き着実な事業推進の取り組みをお願いいたします。

また、この駅舎改良を契機にデザイン性の高い駅舎にするなど、観光で訪れた方々や地域の皆様にも将来に渡って愛される駅となるよう、鉄道事業者としてのご協力をお願いいたします。

- (3) 新杉田駅の混雑対策（継続）

新杉田駅は、一日あたりの乗降客数が約 7 万 7 千人（平成 28 年度実績）と、利用者が多い駅です。

駅構内及び高架下に設置されているシーサイドライン・京急杉田駅方面との連絡通路は朝夕ラッシュ時には乗降客であふれ、著しく混雑している状況が見受けられます。

ついては、利用者の安全性の確保の点からも、適切な混雑対策を講じるよう要望いたします。

(4) 桜木町駅の利用者の安全性確保、利便性向上を図るための新改札口等の整備（新規）

J R 桜木町駅は、一日の乗降客数が約 14 万人（平成 28 年度実績）と多くの方々が利用しており、今後、北仲通地区の計画開発が進むことで、来訪者、就業者等の相当な増加が見込まれることから、利用者の安全性確保や利便性向上を図ることが不可欠です。

このようなことから、駅南端部への新改札口設置について、貴社と連携して事業を進めていますが、平成 32 年度の供用に向けて引き続き着実な事業推進をお願いいたします。

また、新改札口は、野毛・北仲通・馬車道地区の新たな玄関口となることから、高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した施設整備を行うとともに、デザイン性の高い駅舎にするなど、観光で訪れた方々や地域の皆さまにも将来に渡って愛される駅となるよう鉄道事業者としてのご協力をお願いいたします。

(5) 関内駅、山手駅、大船駅への可動式ホーム柵の設置（新規）

横浜市では利用者数が 1 日 10 万人以上の駅及び視覚障害者利用施設最寄駅を対象に可動式ホーム柵の整備を促進することとし、整備費用の一部を鉄道事業者に補助しています。横浜駅、桜木町駅、東神奈川駅については、御社が可動式ホーム柵の設置を計画していることに感謝します。その他の駅についても、旅客の安全確保を図る観点から、早期に導入されるよう要望いたします。